

第90号

2019年1月1日

# JET 通信

あけましておめでとうございます

発行：学校法人 JET 日本語学校

JET 日本語学校後援会

〒114-0023 東京都北区滝野川 7-8-9 3, 4F

TEL03-3916-2101 / FAX03-3916-5333

E-mail info@jet.ac.jp

## 11月の日本留学試験(EJU) 結果発表

# 校内平均 287 点

## 全平均を 42 点上回る

11月11日、世界15か国で26,828人が受験した日本留学試験に、JETからは28人が受験しました。「日本語」の校内平均点は287点(400点満点)で、全体平均の245点を42点上回りました。

## 4割が300点超

校内トップはAクラスの許哲瑄さん(台湾)の348点で、28人中約4割に当たる12人が300点以上を得点しました。日本語能力試験(JLPT)のN2級に相当する200点以上は、27人でした。

## 「記述」で4人が満点

「聴解・聴読解」の部門ではQuek Jing Wenさん(マレーシア)と金昭利さん(韓国)が164点(200点満点)で、また、「読解」部門では許哲瑄さんが194点(200点満点)で校内最高でした。日本語の「記述」では許哲瑄さん、金昭利さん、盧芋彤さん(台湾)、Chung Sim Pengさん(マレーシア)の4人が、満点の50点でした。

## 非漢字圏の著しい伸び

### 6月比60点以上のアップも

6月実施のEJUから「日本語」が40点以上アップしたのは9人いました。国籍別に見ると、インドネシア5人、マレーシア2人、台湾2人と、非漢字圏の学習者の伸びが際立っています。特に伸びが大きかったのはMahkota Raja Buanaさん(インドネシア)の67点でした。

なお、28人の受験者のうち、非漢字圏12人の平均は285.4点で、漢字圏16人の平均点288.2点とわずか2.8点の差でした。

## 基礎教科でも健闘

「総合科目」で校内最高点は戴恩辰さん(台湾)、「文系の数学」では許哲瑄さん、「理系の数学」と「物理」ではVitto Jevano Christantさん(インドネシア)、「化学」と「生物」では林哲宇さん(台湾)が、それぞれ校内トップでした。戴恩辰さんの「総合科目」は200点満点中180点という好成績でした。

## 《日本留学試験「日本語」校内ベスト10》

順位	氏名	出身	クラス	点数
1	許 哲瑄	台湾	A	348
2	莊 惟舜	台湾	A	346
3	Quek Jing Wen	マレーシア	A	345
4	林 俊宏	台湾	A	341
5	馮 靖凌	台湾	A	335
6	Maria Ignatia	インドネシア	A	328
6	金 昭利	韓国	A	328
8	戴 恩辰	台湾	A	318
9	盧 芋彤	台湾	A	316
10	Chung Sim Yee	マレーシア	A	315

## 大忘年会 盛大に!

### 大学生と一緒に料理とゲーム楽しむ

12月21日に、JET日本語学校大忘年会が開催され、学生115人、大学生18人、教師など15人の総勢148人が参加しました。各クラス手作りの様々な国の料理を食べたり、ゲームなどをして親睦を深めました。

司会を務めたのは、じゅんこさん(タイ)、ティファニーさん(USA)、ジュンさん(マレーシア)、黄さん(台湾)の4人で、本格的なコスプレと軽妙なトークで会場を盛り上げました。(下の写真)

料理は、たっぷりのお酒で鶏肉を煮込んだ台湾料理「麻油雞麵線(マヨーチーメンセン)」が大人気でした。様々な国の料理が食べられ美味しかったと好評でした。

3の倍数と、3がつく数字に手を叩くゲームでは、100を超えてもなかなか決着がつかず。高速で数字を言い合うという超ハイレベルな戦いになり、会場もヒートアップ!

締めくくりはビンゴ大会!今回はビンゴで当選後、もう一度くじをひくことに。最後まで1等のiPadや人気のbeatsのヘッドフォンなどが残っていたため、残り物にも福があるとばかりビンゴも最後まで大盛り上がり。校長との食事券(5000円分)が当たったのはインドネシアのシャネルさん。たくさん日本語で会話を楽しんできてね!

(石津慎也)



## 祝合格 (12月28日現在)

### 【大学】

☆林哲宇(台湾) 神奈川歯科大学歯学部 ☆Maria Ignatia(インドネシア) 近畿大学農学部 ☆馮靖凌(台湾) 女子美術大学 芸術学部 ☆Wan Liang Jia(マレーシア) 拓殖大学商学部 ☆陳琛鈞(台湾) 拓殖大学政経学部 ☆張書璋(台湾) 拓殖大学商学部 ☆陳琛鈞(台湾) 東京経済大学経済学部 ☆Damar Kumara(インドネシア) 東京農業大学国際食料情報学部 ☆Wan Liang Jia(マレーシア) 東洋大学経営学部 ☆Isaac Valentino Lee Jun Jiet(マレーシア) 東洋大学経済学部 ☆Quek Jing Wen(マレーシア) 日本大学文理学部 ☆盧芊彤(台湾) 法政大学文学部 ☆許哲瑋(台湾) 法政大学経営学部 ☆Crystal Eileen(インドネシア) 早稲田大学基幹理工学部

### 【専門学校】

☆陳婉好(台湾) 東京観光専門学校ホテル学科 ☆王友致(台湾) 東京製菓学校和菓子本科 ☆曾婕瑀(台湾) 東京デザイン専門学校グラフィックデザイン科 ☆Kelly Yong Ngik Thing(マレーシア) 東京モード学園ファッションデザイン学科 ☆孫千晶(台湾) 日本電子専門学校高度情報処理科 ☆Chung Sim Peng(マレーシア) 文化外国語専門学校日本語通訳ビジネス科

## 漢字進級テストで満点2人

12月11日に行われた漢字進級テストの結果、漢字4級クラスの黄皓雪さん(マカオ)と Tiffany Carissa さん(インドネシア)が、見事満点で合格し、翌週から2級クラスに飛び級となりました。



### ○11月22日 大学生との交流会

早稲田大学の国際交流サークルWICが開催する「日本教室」に参加し、けん玉など日本の昔からの遊びに挑戦しました。

### ○12月6日 豆腐作り体験

板橋区文化・国際交流財団が主催する豆腐作り体験に、2人が参加。豆腐を大豆から作る過程を体験できて感激していました。でも仕上がりは、ぐちゃぐちゃになってしまったそうです。



### ○12月12日 文楽鑑賞会

『団子売』と『菅原伝授手習鑑』を国立劇場で鑑賞しました。今年は校内で参加希望者が殺到したため、厳正なるくじ引きの結果9人が参加できました。人形を動かす技術に興味津々。思わず感嘆の声をあげてしまうような素晴らしい舞台でした。

### ○12月23日 室内楽鑑賞会

フルート奏者の佐々木真さんが、銀座・王子ホールで開催するご自身のリサイタルに、学生たちを招待してくださいました。9人が参加しました。李子璋さん(台湾)は「妻と結婚以来4年ぶ

りに音楽会デートができました!」と喜んでいました。

### ○12月29日・30日「第九」鑑賞会

年末の風物詩、ベートーベンの「第九」交響曲の演奏会に、MAX フィルハーモニー管弦楽団指揮者の古澤直久さんからご招待をいただきました。

## 就職セミナー全4回終える

今学期も、JET卒業後に日本で就職を希望している学生を対象に、校内就職セミナーを全4回のシリーズで行いました。

3回目となる11月5日には、留学生の就職活動をサポートしている株式会社オリジネーターの方を講師としてお招きし、「面接講座」を行いました。部屋の入退室や座り方、話し方などのマナーから丁寧に教えていただき、自信がついたようです。

最終回の12月10日には、前学期同様「企業経営者との意見交換会」を実施。東京商工会議所北支部から企業経営者の皆様(5人)がJETに来てくださいました。今回は越野理事長も参加し学生にアドバイスをしました。

全体会のあと行なったグループでの意見交換タイムでは、より突っ込んだ質問や、個人的な相談なども出ました。みな積極的に、貴重なチャンスを逃すまいと、終了時間を過ぎてもなかなか話が終わりませんでした。参加した学生は「疑問が解決した」「不安だったことがわかってよかった」「楽しかった」と満面の笑みを浮かべていました。(草塩仁美)



## 国内就職内定11人に 9月卒の就職率7割に迫る

今年度JETを卒業または終了する学生の国内就職内定者は、12月28日現在、11人に達しました。6月終了の3人と9月卒業の8人です。昨年度の10人をすでに上回りました。

9月卒業後に日本で就職を希望していた学生は12人でしたので、この期の就職率としては約67%になりました。

業種別では、ホテル(3人)、貿易会社(2人)、飲食チェーン店、IT系企業、レンタカー会社、アパレル会社、人材派遣会社、製本会社です。

内定者の国籍の内訳は、台湾6人、マレーシア2人、インドネシア1人、タイ1人、香港1人となっています。

この他、海外の日系企業で採用が決まったという報告もあり、日本留学経験者の企業ニーズの高まりが感じられます。



## 味の決め手は混ぜること

### 初めてのマレーシア出張記

マレーシア出身の学生の多くは多言語話者である。母国語のマレー語の他に英語、北京語、福建語、広東語、インドネシア語などを操る。さらに驚くことに同国人同士なら、それらの言語を混ぜて話す。しかもルールなんてないのだとか。摩訶不思議。抜群のコミュニケーション力で日本語の発音も自然で上達も速い彼ら。そんな彼らの言語感覚はいったいどうなっているのか。以前からずっと不思議に思っていた。今回の出張で何かわかるかもしれない。私の言語のアンテナの感度は空港に降り立った瞬間から最高レベルに上がった。

到着早々いろいろな人が色々な言語で話しかけてきた。マレーシア人と思われたのだろうか。反応できない自分が悔しかったが何とも不思議な感覚。週末の留学フェアでは、卒業生が大活躍。JETのブースに陣取って一気に説明しまくる。「何語で？」が第一声。一生懸命説明しているうちに2つ、3つと言語が混ざり出す。そう、これこれ！隣で聞いていた私はもうしびれっぱなし。後で聞いたら、「混ぜて話しても大丈夫そうだったから、お互いに自然に…」顔つきや話し方でいけるかと思ったら、少しずつ言葉を混ぜていっているのかもしれない。だけどこの感覚！文法の間違ひなんて気にしないそう。とにかく伝えたいし、わかりたいのだそうだ。すごい、この感覚！う～ん、日本人には悔しいけどない感覚だ。でも実にいい味なのだ。マレーシアは外国語上達の秘訣だらけ。昨今、「多様性」という言葉が日本を席卷しているが、相手を受け入れることも意外とこんなところから始まるのかもしれないと思った。多民族の国、多言語の国にお邪魔して、マレーシアの学生の感覚にちょっとだけ近づけた感じがし、もうすっかりマレーシアに魅せられていた。(木村晴美)



12月15日、16日にクアラルンプールで行われた留学フェアでは、卒業生をはじめ多くの方々がJETのブースを手伝ってくれました。

## 学 校 日 誌

○11月12日・21日 北区保健所で結核のレントゲン検診。受診した75名全員異常なしでした。

○11月16日 進学クラスで日本語模擬テスト

○11月19日 2019年度の進学科生対象の、英語と数学レベルチェックテスト

○11月26日 2019年度の進学科生対象の予備授業開始(数学と理科)

○12月3日 六義園で紅葉狩り(A・Bクラス)

○12月4日・11日 専門学校進学希望者に面接指導

○12月6日 六義園で紅葉狩り(F・G・Hクラス)



○12月6日 ビルの火災を想定した避難訓練。今回は校長が不在という状況を設定、無事、北谷端公園に避難できました。

○12月10日 大学院進学希望者による研究計画発表会

## 校内教員研修の取り組み

主任教諭 山口閑子

私たちJET日本語学校では、2018年2月から教師研修に本格的に取り組みはじめました。それまでは、先輩教師が新任教師にOJTで教えてきましたが、より良い学校、より高いレベルの教師になるためには、学校全体で向上に取り組む姿勢が必要だと考えたからです。研修は、新任研修、中堅研修、ベテラン研修の3グループに分け、行うことにしました。(中堅、ベテランについては10月期より開始)

まず、新任研修については授業開始前に学校の教育理念、教育目標について校長から話をし、教授実技指導を専任全員で行いました。実際に授業開始後は、3カ月～6カ月で教案チェックを行い、隔週で新任教師と大学生インターンを対象に実際の授業での悩みや実技の指導を話し合う場を設けています。

中堅研修、ベテラン研修については、「自律」と「自己の気づき」を合言葉として取り組んでいます。お互いの授業の見学、ビデオ録画を中心として行い、研修後はレポートを書きます。また、中堅は定期的にベテラン教師からの声かけや共有の場も設けています。

JETの良いところは授業において自由な発想と取り組みができることだと思っています。研修によって教授法が画一化されるのではなく、より良い新しい教授法を共有し、一緒に向上できることを目指しています。そのためには、教師一人一人が自覚を持ち、気づき、学んでいくことが大切だと考えています。

## 桜川小との交流で日本語に自信

12月5日、E(中級)クラスとF(初中級)クラス38人が板橋区立桜川小学校の5年生約100人と交流会を行いました。手書きのイラストを使って母国の紹介をしたり、校庭で鬼ごっこをして遊んだりしました。給食も一緒に食べました。

初めて訪れる日本の小学校。行く途中、上手に説明できるかどうか、どきどきわくわくが隠せない様子でしたが、いざ交流会が始まると、子ども達のパワーに負けまいと、ペアで協力しながら日本語で一生懸命やりとりをしていました。

学生からは「子ども達が準備してくれたプレゼントや飾りつけに感動した。」「思ったよりコミュニケーションが取れた。通じてうれしい。」「日本の小学校はきれい!」などの感想が聞かれ、いろいろな気づきがあったようです。

交流会の最後に踊ってくれた迫力のソーラン節に、JETの学生は大感激。楽しい時間はあっという間に終わりましたが、頑張った準備したことが生かされた実りの多い交流会でした。ふだんおとなしい学生も、この交流会を機に日本語に自信がついたようで、授業中の発言が活発になりました。(岡田安弘)



## 介護福祉士候補生4期生来校

12月18日、EPA(経済連携協定)による介護福祉士候補生15人(インドネシア8人、フィリピン7人)が来校しました。JETでは4期生となります。全員が本国では看護師または看護助手の若者で、12月から桐和会の埼玉県にある介護施設・医療施設で勤務しています。1月から週1回JETで日本語授業を受けながら、まずは日本語能力試験N2合格をめざします。「日本はきれいな国、そして仕事にきびしい国ですから日本で働きたいと思った」、「早く利用者さんや職員の人達とコミュニケーションできるようになりたい」と笑顔で語っていました。

(得猪節子)



## 《編集後記》

平成最後の年頭に、JET通信第90号をお届けします。

このニュースレターは、開校6年目を迎えた1993年4月、柴田邦夫理事長(当時)の発案で創刊し、およそ四半世紀のあいだ、年3~4回発行というゆるいペースで、山あり谷ありのJETの歴史を刻んできました。

創刊当初は、パソコンがない時代でした。ワープロから感熱紙にプリントし、切り張りしていました。デジタルカメラもありません。フィルムを現像に出し、プリントをハサミで適当な大きさに切って使っていました。今はPCの画面上で自由自在に編集作業ができることを考えると、隔世の感があります。

編集の責任者を担うことになった井上(当時、教務主任)は、3つの編集方針を立てました。

1. 卒業後も学生がJETとのつながり(絆)を保てるよう、卒業生の活躍や消息をできるだけ取り上げ、世界中の卒業生全員に郵送する。
2. 近隣の方々や日ごろお世話になっている関係者の方々に、日本語学校のことをよりよく理解していただくために、ふだんの教育活動とその成果などを詳細にレポートする。
3. 学生の優れた作文を取り上げ、日本語学習意欲を高める一助とする。また、記事は全て日本語学習者の読解教材としても使用できるよう、語彙や文型などに配慮し、わかりやすく美しい日本語をめざす。

当時はEメールもありませんでしたので、印刷した500~600部すべてを郵送しました。切手代はJET日本語学校の後援会に負担していただきました。現在は500部ほどを郵送し、約1700人にはメールでの配信です。

毎号の送付者名簿をチェックするたびに、この卒業生は今頃どうしているだろうか、この方にはお世話になったなあ、などと感慨にふけてしまいます。

親愛なる読者の皆様、時々近況などをお知らせいただけると嬉しいです。(井上靖夫)

## ◆ 行事日程 ◆

- 1月7日(月) 始業日
- 1月16日(水)、17日(木)、22日(火) 防災訓練
- 1月21日(月)、28日(月) 進路説明会
- 1月27日(日) 音楽鑑賞会(オーケストラコンサート)
- 2月10日(日) 大相撲トーナメント観戦
- 2月13日(水) 2019年度進学科ガイダンス
- 2月14日(木)~15日(金) 進学科クラス修了試験
- 2月22日(金) 基礎科クラス期末試験
- 3月7日(木) 卒業式
- 4月2日(火) クラス分けテスト
- 4月3日(水) 入学式、オリエンテーション